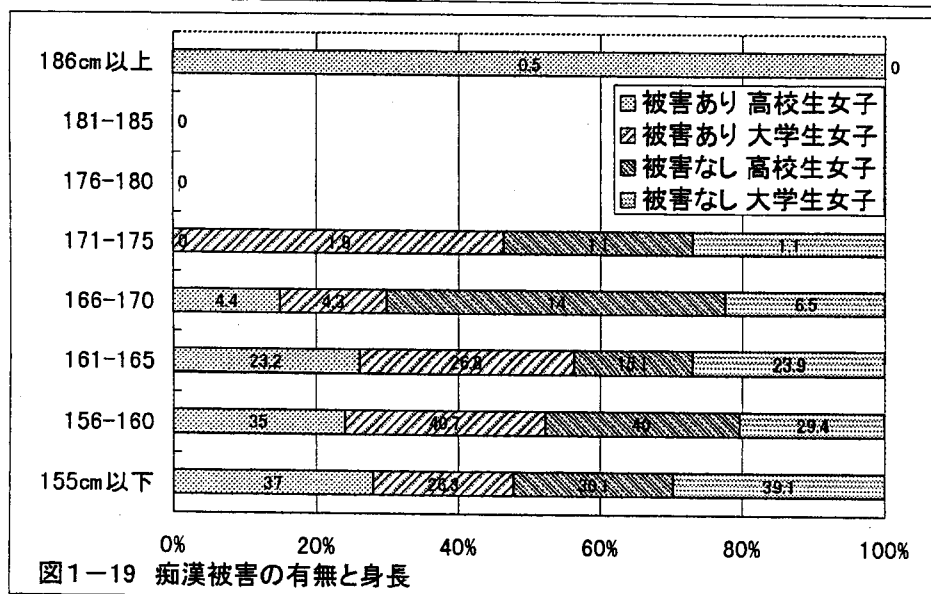
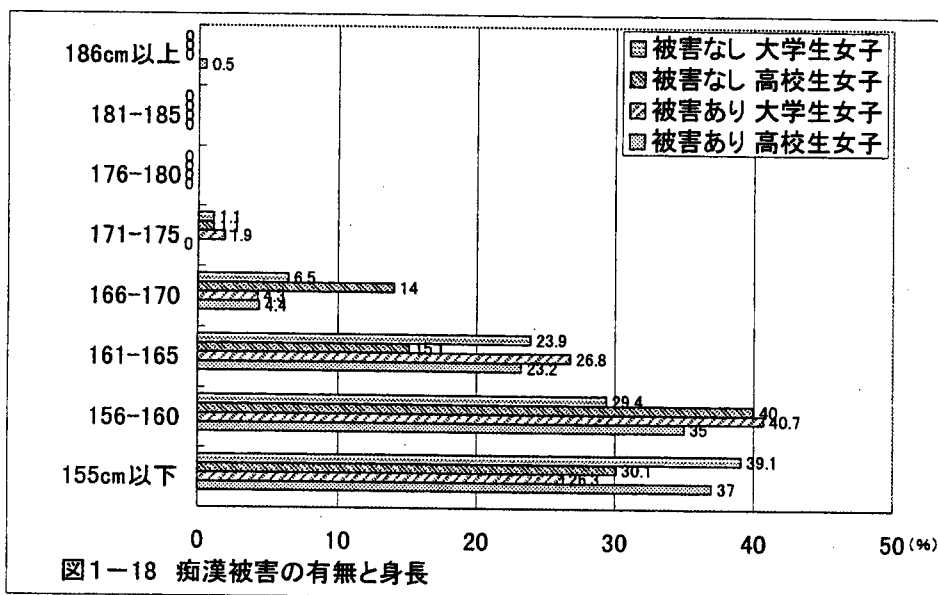


3. 痴漢被害者の有無と身体的特徴

痴漢の被害を受けやすい女性の身体的特徴を明らかにするため、調査対象者の高校生女子と大学生女子の身体的特徴を、体に触られる痴漢被害の有無および高校生・大学生別に集計した。まず、単純集計した結果をグラフ化し、次に特定の特徴をもつ人たちの中で痴漢被害を受けた人がどの程度存在するのかをグラフ化した。

① 体に触られる痴漢被害の有無と身長

図1-18のように、痴漢被害は、高校生・大学生ともに身長「156-160 cm」「155 cm以下」「161-170 cm」で多い。ただし、もともとの母数として身長「156-160 cm」の人が多いため、各身長グループに属する人の合計人数を100%とし、そのうち痴漢被害を受けた人がどの程度いるのかを比率で示したグラフが図1-19である。



高校生と大学生を合わせた痴漢被害者の割合は、「161-165 cm」が最も高く、以下「156-160 cm」「155 cm以下」の順になっており、いずれも約半数を占めている。母数が少ないため、断定はできないが、「171-175 cm」の大学生が被害を受ける割合が高いと考えられ、逆に「166-165 cm」では被害者の割合が全体に低い傾向がみられる。総じて、高校生と大学生を合わせると、身長「156-165 cm」の女子の過半数が体に触られる痴漢被害を受けている。

② 体に触られる痴漢被害の有無と体型

図1-20のように、大学生・高校生とも「標準」の体型の人に、体に触られる痴漢被害が多く、「やや太り気味」がそれに次いで多い。つぎに、各体型のグループの中で痴漢の被害を受けた人がどの程度の割合でいるのかを比率で示したグラフが図1-21である。

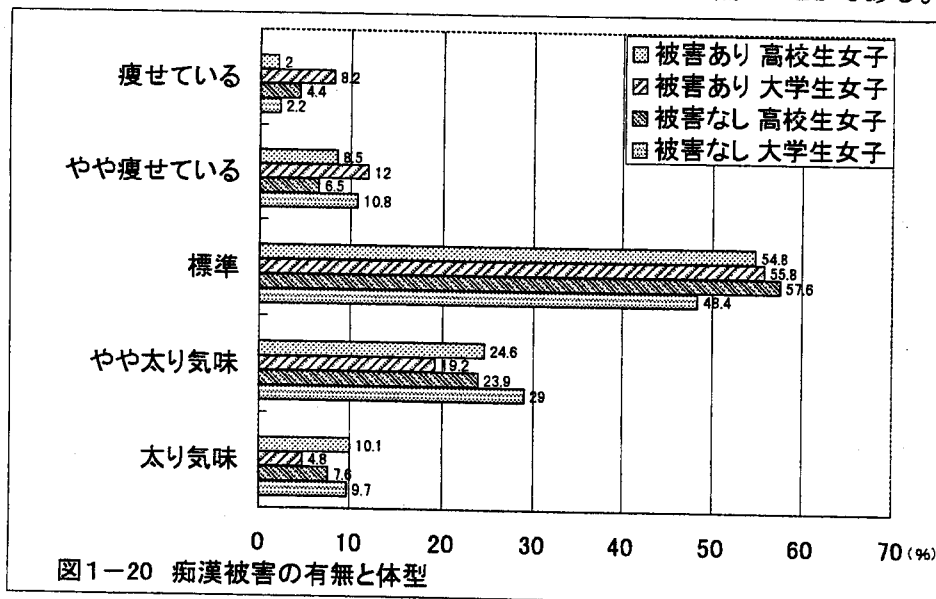


図1-20 痴漢被害の有無と体型

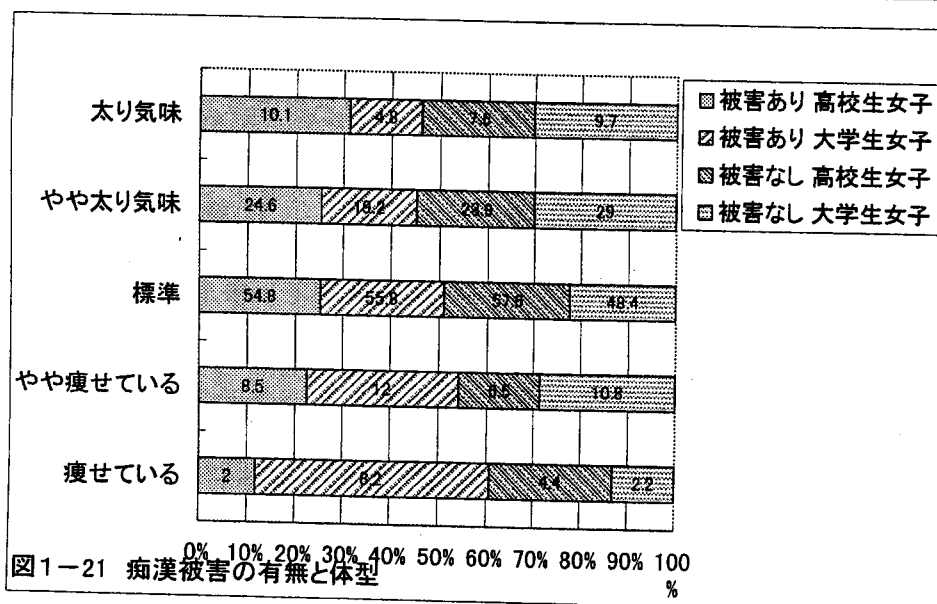


図1-21 痴漢被害の有無と体型

高校生と大学生を合わせた割合では、「痩せている」人の中で痴漢被害を受けた人が6割を越えて最も多く、以下「やや痩せている」と「標準」が順に5割を越えて続いている。

高校生と大学生の別にみると、高校生の場合には、ほぼ「太り気味」から「痩せている」の順に被害者の割合が高いのに対し、大学生の場合には「痩せている」から「太り気味」の順に被害者の割合が高く、正反対の特徴がみられる。

③ 体に触られる痴漢被害の有無と髪型

図2-22のように、高校生・大学生ともに「セミロング」の髪型で痴漢被害が5割を越えて圧倒的に多く、続く「ポブ」と「ロング」は2割以下にとどまっている。

髪型別に痴漢被害者の比率を示した、図2-23をみても、高校生と大学生の間の違いはほとんどなく、総じて「セミロング」の髪型的女子に痴漢被害者が最も多く、以下、「ポブ」「ロング」「ショートヘア」の順に多くなっている。

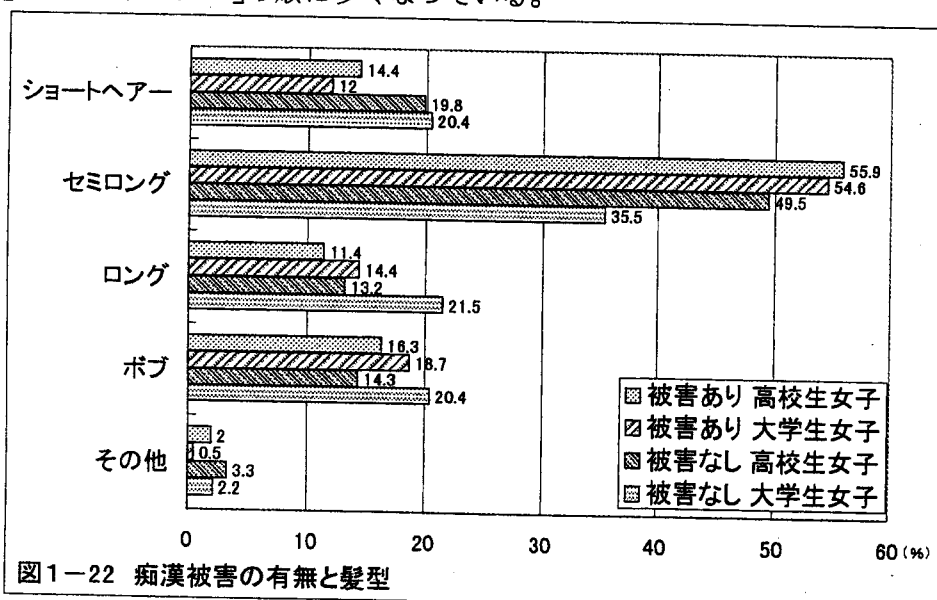


図1-22 痴漢被害の有無と髪型

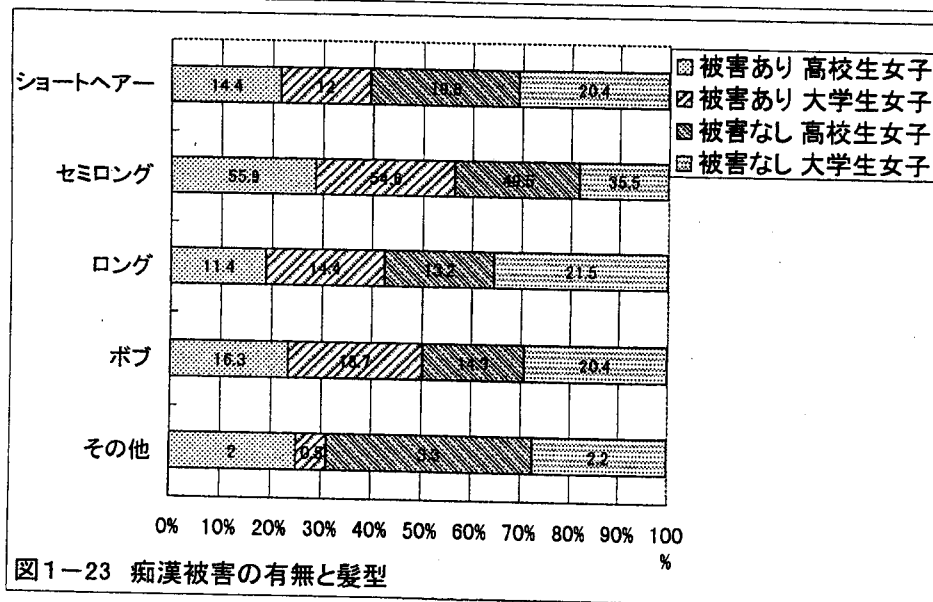


図1-23 痴漢被害の有無と髪型

④ 体に触られる痴漢被害の有無と頭髪のカラーリング

図2-24のように、大学生では頭髪を染めている人、高校生では染めていない人で痴漢被害が多い。ただし、頭髪を染めている割合は、大学生が高校生よりも圧倒的に高く、逆に高校生では染めていない人の割合が圧倒的に高いため、このような逆転した結果が得られたと考えられる。

頭髪のカラーリングをしている人としていない人中で、それぞれどの程度の人が痴漢被害を受けているかの比率を示したグラフが図2-25である。高校生と大学生を合わせると「染めていない」よりも「染めている」で被害者の割合が5割を越えて高い。また、高校生では「染めていない」の中に被害者の割合が高く、大学生では「染めている」の中に被害者の割合が高い。とくに、「染めている」では、大学生の被害者の割合が3割を越えて高い。

頭髪をカラーリングしている大学生が痴漢の被害を受ける割合が特に高いといえる。

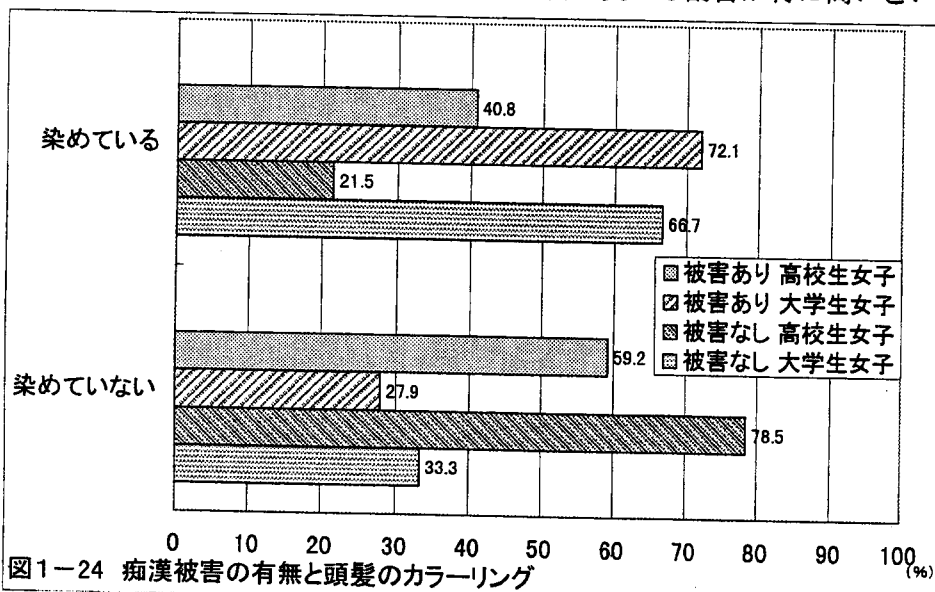


図1-24 痴漢被害の有無と頭髪のカラーリング

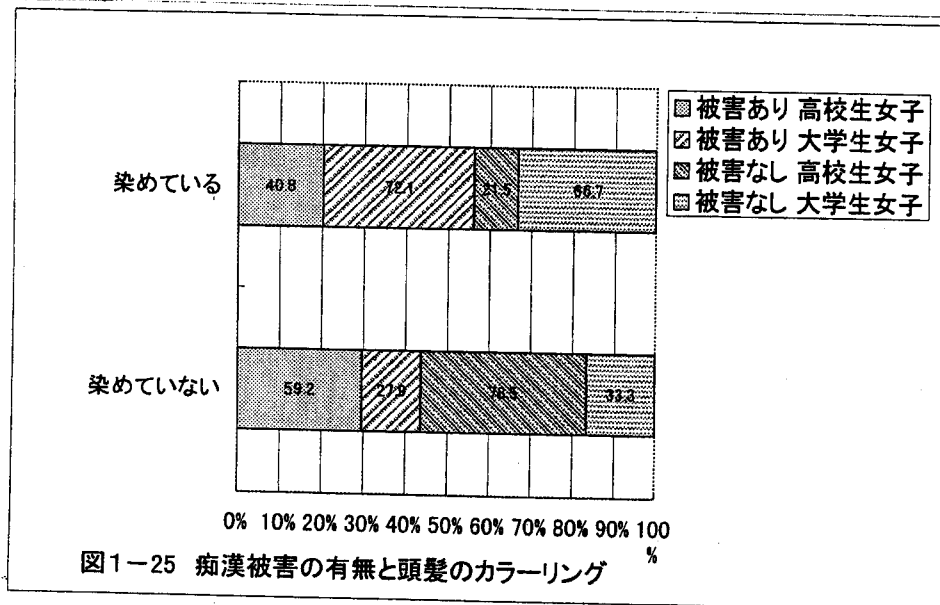


図1-25 痴漢被害の有無と頭髪のカラーリング %